

## 平和のために できること

遠山 智恵子 議員

**問** 民主党政権は武器輸出三原則を緩め、危険な事態になっている。広島・長崎への原爆投下から67年。核兵器を使用させないためには廃絶しかない。市長の政治姿勢は。

**総務部長** 今回策定した、第五次総合計画後期5カ年基本計画の中で、初めて平和問題を明文化した。今後

も積極的に取り組みたい。**問** 市長が答弁に立たなかったことが、政治姿勢であることと受け止めた。原発の核は原爆の核と同じ。東海第二原発の再稼働反対を表明していただきたい。

**答** エネルギーの問題は国の大きな政策。難しい。

**問** 市は平和事業として、さきの戦争の体験記第3集のまとめを手掛けているが、そういうものを映像で記録すれば、より関心を持ってもらえると考えるが。

**総務部次長** 多くの人に見てもらうには、記録を残していくのもいい。

**問** 市役所前に平和宣言文の看板を設置する考えは。**総務部長** 周年事業の一環で行うとか、時期とタイミングを踏まえた上で作らないと大きなアピールにならない。

## 跡地利用の状況は？ 旧野々井中学校

金澤 克仁 議員

**問** 学校法人江戸川学園が、旧野々井中を小学校利用のため購入したいとの新聞報道があった。市は、どのような跡地利用が望ましいと考えているか。

**市長** 地域の皆さんの気持ちを考えると、学園としての利用が最も望ましい。

**問** 6月3日に地元説明会が開かれたが、どのような意見が出されたのか。

**政策推進部長** 私立学校が増えると公立学校がさらに少なくなる、高齢者福祉施設に使ったらいい、学校を学校として使うことは歓迎など、9名から意見があった。

**問** 建設に当たっては国から補助金を受けているが、民間に売却すると、その扱いはどうなるのか。

**教育部長** 原則、国庫補助金相当額を国庫納付金として返還するが、この場合は納付金相当額を市の学校施設整備基金に積み立てれば免除が受けられる。

**政策推進部長** その場合、3億6900万円を基金に積みことになる。

**問** 平成26年4月開校を目指すしていると説明があった。

た。学校として再利用することが一番望ましいので、早く開校できるように手伝いをしていただきたい。**答** 今夏に県に仮申請したとしても、一番早く26年4月開校と聞いている。

## 出産する人に 夢と希望を

石井 めぐみ 議員

**問** 市の出生数は、減少傾向にある。なぜ女性が子どもを産まないのか。記事によると、社会制度の不備により未婚化・晩婚化が進んでいること、経済的理由で子どもの養育費の見通しが立たないことが主な理由。子育て世代を市に呼び込むためにも出産前が肝心。子どもを転校させてまで引越してこないのが現状。龍ヶ崎市等のように出産祝い金を給付する考えは。

**市長** 現在、祝い金や記念品を贈る制度はない。子育て支援センターの充実や子育てに関する様々な利用料・保育料等の助成・補助で支援している。

**問** 育児不安による産後うつ解消の取り組みは。

**健康福祉部長** こんには赤ちゃん訪問事業で乳児のいる家庭を訪問している。保健センターでは質問票を使い、母親の産後うつ早期発見に努めている。

**問** 全国でジェスチャーを使って赤ちゃんと話すべビーサイン(※)という育児法が注目を浴びている。また、近隣市町村で赤ちゃん祭りが開催された。育児を楽しく変えるための取り組みは。

**答** 9月12日にイベントがある。赤ちゃん祭りの催しになるが、付随する形でPRして、たくさんの方に来ていただきたい。

**※ベビーサイン：赤ちゃんと手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをする育児法**

## 取手の緑と 水を守れ!

関戸 勇 議員



メタセコイア (戸頭団地)

**問** 市制40周年を記念した「取手市の巨木と名木」という本にある戸頭団地のメタセコイア。本の発売20日前に、この木が切り倒されることがわかった。私は、担当課と協議をして、枝の剪定のみとなった。本の出

版と倒木の計画は同じ部が行っているが、なぜそうなるのか。

**建設部長** 樹木剪定については、切れと言う方と切るなど言う方がいる状況。対応に悩んでいる。

**問** ゆめみ野開発で平地林が消え、取手の特徴であった斜面林も姿を消した。自己犠牲で屋敷林を維持している方に助成の基準が必要。また樹木管理のガイドラインを策定する考えは。

**答** 公園の樹木の除染作業で強剪定を行っている。終わったたら、ガイドライン作成に向け作業部会をつくる。

**問** 5月18日水道水からホルムアルデヒドが検出され、柏市などで水道が止まった。取手も同じ利根川の水を飲んでる。5月20日午前0時以降、取手の取水場では検査していないが、まちづくり振興部長 検査の個所数を増やしてほしいという話は県に伝えたが、残念ながら現在は水海道の取水場だけで行われている。

**撤回せよ!**  
**小学校統廃合計画**

鈴木 潔 議員

**問** 小学校統廃合計画は決定ではなく、まだ案であることを周知してほしい。**教育部長** 説明会では、議会で学校設置条例改正の議

決をいただかないと、正式な年次計画は決まらないと説明している。

**問** 適正配置の基本的考えに通学時の負担や安全性がある。この案では、統廃合により通学の負担や危険性が増えることを心配するのはないか。

**答** 統合時に細心の注意を払って新しい通学路を設定する。徒歩通学圏内を超える場合、別に通学の手段を考えなければならぬ。

**問** 中学校統廃合が終わったが、先生、保護者、何より生徒の声を聞いたか。**教育長** アンケート等はまだ取っていないが、学期末に子どもたちが作文を書いたりするので、思いをしつかり受け止めていきたい。

**問** 中学校統廃合の際、統廃合後は30人前後と述べていたが守られていない。小学校統廃合でも、吉田小に6教室造るなど無理な統廃合を進めている。さまざまなる人の要求に耳を傾け、計画の見直しを要求する。

